

氏名	Alam Shahjalal Shafiul
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2290号
学位授与の日付	平成14年3月25日
学位授与の要件	医学研究科病理系病態分子生物学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Hepatitis C virus quasispecies in cancerous and noncancerous hepatic lesions : The core protein-encoding region (肝癌および非癌部におけるC型肝炎ウイルスの準種:コア蛋白質 をコードしている領域)
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 山田 雅夫 教授 清水 憲二

学位論文内容の要旨

高い3'→5'エキソヌクレアーゼ活性 (Proofreading 活性) を有する耐熱性DNAポリメラーゼがC型肝炎ウイルス (HCV) の遺伝子解析の際に用いるポリメラーゼ連鎖反応(PCR)に必須であることを示した。肝組織におけるHCVの準種状態を明らかにするために、4例の肝癌患者由来の癌部および非癌部に存在するHCVのコア蛋白質をコードしている遺伝子領域について、Proofreading 活性を有するDNAポリメラーゼを用いて遺伝子解析を行った。その結果、これまでに報告されていた結果とは異なり、ヌクレオチドの欠損や終止コドンの出現はまったく認められず、癌部と非癌部におけるHCVの準種の状態にも差がみられないことが判った。また、3例においては、癌部と非癌部で優勢になっているHCV分子種が異なっていることも明らかにした。

さらに、このような遺伝子解析の過程において、コア遺伝子の9番目のコドンにリボゾームフレームシフトを引き起こすと考えられるGからAへの塩基置換を有する分子種が得られた。

論文審査結果の要旨

本研究は、肝組織における HCV の準種状態を明らかにするために、4例の肝癌患者由来の癌部および非癌部に存在する HCV のコア蛋白質をコードしている遺伝子領域について、Proofreading 活性を有する DNA ポリメラーゼを用いて遺伝子解析を行ったものである。その結果、これまでに報告されていた結果とは異なり、ヌクレオチドの欠損や終止コドンの出現はまったく認められず、癌部と非癌部における HCV の準種の状態にも差がみられないという興味ある知見とさらに遺伝子解析の過程から、コア遺伝子の9番目のコドンにリボゾームフレームシフトを引き起こすと考えられる G から A への塩基置換を有する分子種が得られたという。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。